

コープみらいでは、「忘れない、伝える、続ける、つなげる」を合言葉に被災地支援を続けてきた視点から、組合員の皆さんに役立つ情報をシリーズで発信しています。最近では、暮らしに大きな影響を与える自然災害が増加傾向にあり、台風などの自然災害による広範囲での停電も多く発生しています。そこで第3回では、いざという時の「停電の備え」についてお伝えします。

2021年3月11日で東日本大震災から10年

停電への備え 見直してみよう

突然の停電発生！あわてないで、まずは「落ち着きましょう」

台風や落雷、大規模震災などで突然の停電に見舞われてしまったら…。あわてて動くとかげをするおそれもあります。声を掛け合う、一人でいても声を出すことで気持ちを落ち着かせることができます。

停電であわてないために、備えや行動を見直しましょう。



**停電になったら
周りの状況を確認しましょう**
停電は自宅だけなのか、地域全体なのかで対処が変わります。



自宅だけが停電している場合
ブレーカーが落ちていないかを確認。
ブレーカーがONなのに通電しない場合は電力会社に連絡しましょう。

地域全体が停電している場合
電化製品の電源プラグを抜いておきましょう。
通電を確認したら順次プラグを入れることで、電化製品のトラブルリスクを下げるすることができます。

電池のストックがあると、安心していませんか？

身近なアルカリ乾電池の例だと、年間3～5%程度自然放電します。また高温・多湿など管理状態によっても放電が早まる場合があります。



そこで提案！「ろうそく」も上手に利用して灯りを確保

ろうそくのメリット

- 長く備蓄しても劣化が少ない
- 長時間安定した明かりを灯せます
- 安価で手に入りやすい
- 揺らめく炎には癒やしの効果があります



ろうそくのデメリット・注意点

- 直火であること。
火の元・子どもやペットが手を出さないか・大規模震災直後はガス漏れによる引火の危険性があります。大きな揺れを伴う余震にも注意しましょう。

ひと工夫で安全性と照明効果UP!

ろうそくを灯す時には耐熱グラスに入れ、金属トレイの上に置くことで、

- 倒れた時の火災予防が期待できます。
- グラスのレンズ効果や金属トレイの反射で明かりを広げられます。



ろうそくの代わりに、アルミホイルとティッシュペーパーを材料に作れる
「安全・かんたん手づくりランプ」

作ってみよう

公益財団法人市民防災研究所のホームページには、家庭にあるアルミホイルとティッシュペーパーとサラダオイルを使って作れる非常用灯りの作り方が、分かりやすく紹介されています。家族で、友達と、災害の備えについて話しながら作ってみませんか。

詳しくは [市民防災研究所](#) [検索](#) 出典：公益財団法人 市民防災研究所



長期の停電時に頼れる「ポータブル電源」をご存じですか？

災害時の備えとして注目されている大容量バッテリーです。一度に複数台のスマートフォンへの給電が可能で、家族4～5人分のスマートフォンを1週間繰り返し充電したり、照明・扇風機や電気毛布などの家電にも利用できます。

- 機械操作が苦手な方でも、留守番のお子さんでもスイッチを入れるだけで給電できるカンタン操作。
- 3～4月に一度、動作確認含めて自然放電分を追加充電するだけ。
- 避難時の車中泊やテント泊でも活躍。

AC(家庭用コンセント)・USB(スマホなど)・DC(シガーソケット)接続に対応



※下記の企画の募集は終了しています※



ふくしまの食の安全の取り組みを知る学習会

ふくしまの漁業の現状とこれからの展望

2011年の東日本大震災と福島原発事故以降、福島県漁連では漁業関連施設を復旧し、わずかな魚種から試験操業を始め、放射能検査を続け安全性を確認して魚種を拡大しながら試験操業を続けてきました。今年2月、すべての魚種の制限が解除され原発事故の影響による出荷制限をうける魚介類はゼロとなり、本格操業に向けて動き出しています。水産物の食の安全・安心の取り組みと本格的な再開に向けた現場の想いをお聞かせします。

主催	東京都生活協同組合連合会(協賛:東京消費者団体連絡センター)
日時	12月2日(水) 13:30～15:00
講師	八多 宣幸さん(福島県漁業協同組合連合会災害復興プロジェクトリーダー) 柳内 孝之さん(小名浜機船底曳網漁業協同組合理事、福島県漁業協同組合連合会理事)
定員	100名
参加費	無料 ※ただし、通信料金はかかります
ツール	Zoomを使用 ※後日詳細をメールでご案内します。
申込方法	shoku@coop-toren.or.jp宛にメールでお申し込みください。 件名:「ふくしまの漁業の現状とこれからの展望」申し込み 入力項目:①講座名 ②お名前(ふりがな) ③メールアドレス ④電話番号 ⑤利用生協名や所属団体など(未記入可)を入力ください。
締め切り	11月30日(金) 定員になり次第締め切ります

【お問い合わせ】東京都生活協同組合連合会 食の安心安全事務局
Eメール shoku@coop-toren.or.jp



オープン講座

コロナ時代の避難所運営・災害対策 ～自分自身や家族を守るための行動とは～

新型コロナウイルス感染拡大の中、高齢者・障がい者・子ども・女性など「弱者を守る視点」で「避難所運営」や「災害対策」などを学びます。

主催	コープ災害ボランティアネットワーク (共催:中野区社会福祉協議会中野ボランティアセンター)
日時	12月19日(土) 14:00～15:40(13:30受付開始)
講師	浅野 幸子さん(減災と男女共同参画研修推進センター共同代表、早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」招聘研究員)
定員	80名(コープみらい組合員とその家族対象。申し込み多数の場合は抽選し、全員の方に12月15日までに詳細をご連絡します)
参加費	無料 ※ただし、通信料金はかかります
ツール	Zoomを使用
申込方法	右記二次元バーコードでお申し込みください。
締め切り	12月11日(金)



【お問い合わせ】東京都生活協同組合連合会 担当:奥山・富岡
TEL.03-3383-7800 受付時間/9:00～17:00(土・日・祝休業)
※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開催を中止する場合があります。